

第 18 回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）プレ大会 兼
第 18 回全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技地区予選 兼
第 45 回北信越グランドソフトボール大会実施要領

1 競技規則

平成 30 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督 1 名、選手 20 名以内（男女は問わない）とし、他に専任のコーチ 4 名以内、スコアラー 1 名およびマネージャー 1 名を設けてもよい。
- (2) 監督が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督含め 20 名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、福井県チームを除くトーナメント方式とし、3 位決定戦を行う。また、トーナメント戦以外に福井県チームを含めた交流戦を実施する。
- (2) 試合は、7 イニング制とし、試合開始後 90 分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、タイブレーカーにより試合を延長して行う。ただし、延長は 2 回までを限度とし、延長開始後 15 分を経過した後は、新しいイニングには入らない。それでも同点の場合は、最終出場選手 10 名の抽選によって勝敗を決定する。
- (4) 指名打者（DH）および再出場（リエントリー）を採用する。
- (5) 試合球は、主催者が用意する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチおよび選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は 30 番、専任のコーチは 31 番から 34 番、主将は 10 番とし、他の選手は 1 番から 99 番の番号とする。また、ユニフォームの左袖に都道府県・指定都市名を表示すること。
- (3) スコアラーおよびマネージャーは、ユニフォームを着用してはならない。
- (4) 金属製スパイクの使用は禁止する。

- (5) 危険防止のため、競技中の選手（コーチー含む）は、腕時計、ブレスレット、ネックレス等、危険と思われるものを着用してはならない。

5 組合せ

組合せは、平成 30 年に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下、代理抽選の上、決定する。

6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻 30 分前までに 5 部作成し、競技会場の競技本部へ提出する。
なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いの下、決定する。

7 その他

- (1) 監督会議は、競技会開始前に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。
なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを 1 塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、監督、コーチー、選手、スコアラー、マネージャー以外は入ることができない。
- (4) アイシェード、赤色標示物、黄色標示物、コーチー用帽子および練習球は、各チームで用意すること。
- (5) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (6) 少雨の場合は決行するが、荒天時他不測の事態が生じた場合等の取扱いは、主催者において別途決定する。